

大阪市立 加美南部 小学校



住所

〒547-0003 大阪市平野区加美南 1-9-17

連絡先

☎ 06-6791-2237

☎ 06-6791-2163

校長

安田 信彦

開校

昭和 19 年

URL

<http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e751726>

教育目標

人間性豊かで実践力のある子どもを育てる

重点目標(校訓)

「強く 正しく 明るい
子」

運営に関する計画

【概要】子どもたちが安心・安全に学習できるようにします。子どもたちの学力・体力を伸ばします。

【年度目標】

【安心・安全な教育の実現】

- ・令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を92.9%以上にする。

- ・令和7年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

令和6年度：1.13%

- ・令和7年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目に対して肯定的に回答する児童の割合を87.8%以上にする。

- ・令和7年度の学校児童アンケートにおける「仲の良い友だちがいる」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を97.0%以上にする。

- ・令和7年度の学校保護者アンケートにおける「子どもたちは、自分からあいさつができています」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を93.2%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を79.5%以上にする。

- ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72.7%以上にする。

- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を84.6%以上にする。

- ・令和7年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目に対して、肯定的回答をする児童の割合を90.0%以上にする。

- ・令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、前年度よりも向上させる。

令和6年度：男子 48.3、女子 48.4

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数を年間50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]

- ・第2期「学校における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準Ⅰを満たす教職員の割合を95.83%以上にする。

- ・令和7年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を78.8%以上にする。

- ・令和7年度の学校保護者アンケートにおける「学校のできごとを学校だより、学年だより、学校ホームページなどで伝えている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を96.1%以上にする。

校長先生からの
メッセージ

校訓「強く 正しく 明るい子」

学校教育目標「人間性豊かな実践力のある子どもを育てる」

本校は、昭和19年(1944年)4月に開校し、昨年度、80周年を迎えました。現在は、334名の子どもたちが在籍し、元気にのびのびと学校生活を送っています。子どもたちが、健やかに成長するためには、「あいさつができる」「時間を守ることができる」

「ルール(きまり)を守ることができる」「話をしっかり聞くことができる」「正しい言葉づかいができる」「友だち(仲間)を大切にすることができる」など、学校生活の基本、あらゆる教育活動の基盤(土台)を身につけることが大切です。その上で、子どもたちの“自尊感情”を高め、豊かに自己表現ができる人材の育成をめざしていききたいと思います。教職員一同、子どもたちのために全力で教育活動に取り組んでいきます。

校長 安田 信彦

R6年度「全国学力・学習状況調査」

国語	算数	
63	58	平均正答率(%)

●結果と概要／

本校の平均正答率は、大阪府平均に比べ国語が▲3ポイント、算数が▲5ポイント低い。全国平均と比べては、国語が▲4.7ポイント、算数が▲5.4ポイント下回ってしまっている。平均無解答率は、大阪府平均に比べ国語は△0.9ポイント、算数は△1.1ポイント上回っている。全国平均と比べても、国語は△0.8ポイント、算数は△1ポイント上回っている。国語は14問中、9問が無解答0%、算数は16問中、7問が無解答0%だった。このデータからは、子どもたちのほとんどが問題に対して真摯に取り組み、解答を導こうとしていることがわかる。学習指導要領の内容別に見てみると、平均正答率（国語科）では大阪府と比べて「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」▲0.2ポイント、「読むこと」が▲1.2ポイントとそこまで大きな差がみられない。

平均正答率（算数科）では「変化と関係」が大阪府・全国よりも

大きく下回っていることが見えてきた。

●取組の成果と課題／

〔国語〕

大阪府・全国の平均正答率と比べて上回ることができなかったが、学習指導要領の内容「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」については、大阪市の平均正答率よりも△0.1ポイント上回ることができた。しかし、例年の課題である「B書くこと」は、大阪府・全国よりも▲7.1～9.6ポイント低くなってしまった。短答式問題の平均正答率は、大阪府・全国よりも△1.7～2.7ポイント上回ることができた。

〔算数〕

平均正答率を大阪府・全国と比べて、全体で▲約5ポイント低い。学習指導要領の領域別に見ると特に「C変化と関係」領域が低かった。問題形式での平均正答率は、短答式の問題での低さが目立った。

平均無解答率は、大阪府・全国・大阪市と比べて、とても低い。このことから児童がどんな問題でも最後まで意欲的に取り組んでいることがわかる。

R6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	合計 得点(点)
男子	15.08	19.58	30.54	39.06	44.46	9.63	151.65	19.27	50.85
女子	15.75	17.39	35.06	36.81	35.13	10.16	144.31	13.09	52.48

●結果と概要／

・男子の「上体起こし」「立ち幅とび」の平均値は、大阪市・全国を上回った。「反復横とび」においては、大阪市を上回った。その他の項目では、下回るものがあったため、体力合計点では、大阪市・全国を下回ってしまった。

・女子の「握力」「反復横とび」の平均値は、大阪市・全国を上回った。「20mシャトルラン」「ソフトボール投げ」では、大阪市を上回った。体力合計点でも大阪市を上回ることができた。

・児童質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の肯定的な回答では、男子が94.7%（全国93.2%、大阪市93.4%）、女子が81.3%（全国86.2%、大阪市84.5%）だった。運動好きな男子が多いわりに、体力テストのポイントへの加算影響は少ないように感じる。反対にそこまで好きではない女子のほうが、体力テストのポイントは高かった。

・一週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合を見ると、男子が5.1%、女子が12.6%存在することがわかった。また、1週間の総運動時間が420分以上という子は、男子71.1%・女子37.5%とどちらも全国・大阪市より高い。

●取組の成果と課題／

○昨年度から「かけ足週間」「なわとび週間」「なわとびチャレンジ」という体力向上企画を実施している。運動委員会の子どもたちを中心に運動する機会を与えて、

カードや賞状を授与することやあえて参加を強制しないことで子どもたち自身が楽しんで運動に取り組みたいという意欲を掻き立てるよう取り組んだ。また、流行りの音楽を取り入れ、リズムのにせて行う工夫をした。運動行事を年間を通して継続的に企画してきたことで、運動が楽しいと思える子どもたちも増えてきたように感じる。

○今年も「ドッジボール大会」を低・中・高学年別に混成チームで実施した。違う学年の友だちと協力して戦うことで勝ち負けにこだわらず【運動が楽しい】とプラスのイメージをもつ子が多かった。

○全学年で歩いていく全校遠足（久宝寺緑地公園）では、たてわり班で遊びを設定し、オリエンテーションを行った。この行事一日が、すべて身体を使う日となり、支援者からも実施前から体力をつけていかないといけないという意識をもつようになった。

○課題として、1週間の総運動時間が60分未満の子どもたちが存在し、男子に比べて女子の割合が高いことだと感じる。昨年度初めに計画していた運動に対する講演会や地域の方とのスポーツ交流が実施できなかった。今年度は、大阪市の「トップアスリート事業」や区役所の「スポーツ事業」を利用し、さらなる普及・啓発を行っていかようと考えている。

学校の特徴



学習活動

令和2年度から、「書く力」の育成をめざし、『自らの考えを表現することのできる国語科』の授業づくりに取り組んでいます。

すべての学習の根幹となる、「文章を読み取る力」「豊かに表現する力」を育成することができるよう、指導研究を進めています。

土曜授業

例年、土曜授業では、保護者や地域の方と連携し、「引き渡し訓練」や「防災学習」を行います。

また、授業公開（参観）日として、子どもたちの普段の様子を多くの方に見ていただく機会としています。



体力づくり

年間を通して運動に親しむ機会を設定し、全校で体力づくりに取り組んでいます。

例年、6月からのプール水泳で泳力指導に取り組み、最終日には泳力の測定を行っています。

2学期は、「かけ足」に取り組み、体育科の授業時間や休み時間も体を鍛えます。3学期には、「なわとび」にも取り組みます。個人でいろいろな技をマスターしたり、クラス全員で長なわの新記録に挑戦したりする取組を行います。体力を数値的に向上させるだけでなく、心の成長も伴うように指導しています。



たてわり活動

学年が異なる児童の交流を図るため、「ペア学年」や「たてわり班活動」を行っています。低学年から高学年の児童と一緒に活動することにより、高学年児童に責任感が育ち、豊かな情操が養われていきます。毎週木曜日の児童集会では、委員会の児童がさまざまな催しを企画し、全校で楽しんでいます。

